

題材名「ICTを活用した本紹介」

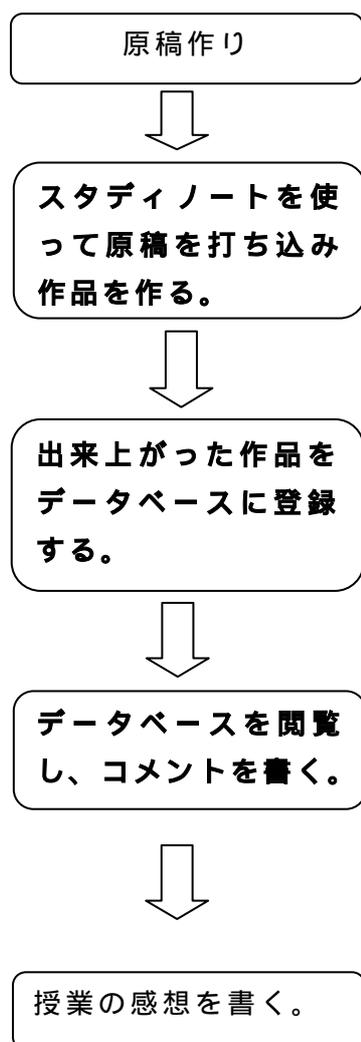
目標

- ・おすすめの本の読書紹介をすることにより、本に親しむ。
- ・一人一人が作った読書紹介を見ることにより、個々の色々なものの考え方、見方にふれ、読書紹介に対して感想を述べることにより、さらに自分の考えを深める。

コンピュータを活用する利点

自分のおすすめの本の読書紹介をグラフィックや写真を取り込みながら作ることができるので、視覚に訴える作品が作りやすい。そして、それぞれが作った作品をデータベース化することにより、みんなで、個々の作品を閲覧することができる。また、どんな本に興味を持っているかや、まだ読んだことのない本の紹介などを読むことができる。さらに、個々が作った作品にコメントすることができるので、自分の見識を深め、自分が作った作品がどのような評価をされているかなどがよく理解できる。

授業の流れ



ICT活用場面

コンピュータでいきなり作品を作るのではなく、あらかじめ自分のおすすめの本について、あらすじやおすすめの文をまとめ、どのようなページを作れば自分の意図するものが相手に伝わるかを考えさせた。



背景やデザインを工夫し、本の表紙の写真を取り込むことにより、よりわかりやすくなるように作らせた。

データベースに登録された作品にコメントを書くときのマナーについての指導をした。

成果と課題

はじめは原稿を書くのにとまどっていた。しかし、スタディノートで作っていくうちに「もっと良くしたい」という生徒が増えてきて、読書紹介を意欲的に取り組むことができた。また、データベースを閲覧することにより、普段は手に取らないような本を、同年齢の友人が読んでいることを知り、読書に対する見識が広がった。

ICT活用環境等

使用周辺機器	パソコン40台、デジタルカメラ プロジェクタ
使用ソフト名	スタディノート
使用教室	コンピュータ教室